

第60回国民体育大会秋季大会・岡山国体・結果報告(平成17年10月23日～27日)桃太郎スタジアム(記載者＝正川)

NO	種別	種 目	氏 名	所 属	予 選		準決勝		決勝		得 点	備 考
					順 位	記 録	順 位	記 録	順 位	記 録		
1	成人	100	村上 一博	国士舘大4	4	10"69(+1.4)	5	10"75(-0.7)	×			
2		1500	下平 芳弘	早稲田大2	3	3'48"77		→	6	3'49"01	3	
3		3000SC	篠浦 辰徳	SB食品		→		→	2	8'43"83	7	
4		10000W	明石 顕	ALSOK		→		→	5	43'53"79	4	
5		110H	谷川 聡	ミズノ	1	13"95(-0.8)		→	5	14"06(-1.3)	4	
6		走幅跳	渡辺 大輔	ミズノ	3	7m52(+0.0)		→	12	7m38(+0.0)		
7		ハーフ	原田 聡	SB食品		→		→	11	1'03'59"		
8	少年A	100	熊本 貴史	早実高2	1	10"58(-0.1)	1	10"56(+1.1)	2	10"46(+2.0)	7	自己新
9		400	種石 宗自	八王子高3	1	48"53	5	47"70	×			
10		800	横田 真人	立教池袋高3	1	1'53"09		→	優勝	1'49"81	8	NGR都高校新
11		5000	神澤 陽一	早大学院高3	6	14'26"84		→	12	14'16"46		自己新
12		砲丸投	関谷 良介	東京高2		→		→	9	15m62(3回目)		都高校新
13	少年B	200	小林 雄一	保善高1	1	22"13(+0.0)	2	22"37(-1.4)	8	22"55(-0.9)	1	自己新
14		110H	水野 龍彦	南大谷中3	2	14"75(-0.2)		→	8	14"79(+0.0)	1	
15	共通	走高跳	武石 健吾	東京高3		2m00		→	2	2m09	7	
16		4×100	熊本・田岡・村上・小林		2	40"50	4	40"47	3	40"33	6	
1	成人	100	成瀬 美紀	日女体大院	2	12"08(-1.1)	2	12"03(-1.7)	6	12"02(-1.6)	3	
2		800	西村 美樹	東京高教	3	2'09"22		→	7	2'09"81	2	
3		5000	平田 奈美	テレビ朝日		→		→	12	15'51"95		
4		10000W	大利 久美	日女体大2		→		→	5	47'06"95	4	自己新
5		100H	一木あずさ	日女体大1	5	13"89(+0.2)		→	4	13"91(-0.8)	5	
6		走高跳	前川絵里子	日女体大3		→		→	8	1m69	1	
7		砲丸投	今川 良子	大森高教		→		→	17	8m76(3回目)	[10]	教員枠
8		槍 投	小島 裕子	白梅高教		→		→	5	49m47(1回目)	4	
9		ハーフ	石田あいみ	アコム		→		→	23	1'18'12"		
10	少女A	100	中澤 桂	武蔵野高2	2	12"16(+0.3)	3	12"16(-0.3)	×			
11		400	利根川由佳	東京高2	1	56"73	3	56"75	×			
12		400H	篠宮 香織	白・高3	4	61"45	8	62"38	×			
13		三段跳	木村 衣里	日大二高3	25	11m03			×			
		円盤投	宋 華麗	東京高3		NM(記録なし)			×			
14	少女B	200	岩楯 英枝	松江5中3	1	25"30(+0.5)	1	24"88(+0.5)	優勝	25"00(-0.6)	8	都中学新
15		3000W	須永 美穂	東京高1		→		→	4	15'12"62	5	自己新
		100H	下山 友里	白梅高1	7	15m46(+0.0)			×			
16		走幅跳	下山 友里	白梅高1	3	5m55(+1.2)		→	10	5m45(+0.6)1回		
17	共 通	走高跳	今城 瞳	東京高3	17	1m63			×			
18		砲丸投	宋 華麗	東京高3		→		→	3	13m62(5回目)	6	
19		槍 投	田中あゆみ	東京高3		→		→	8	45m14(1回目)	1	
20		4×100	一木・成瀬・中澤・岩楯		5	46"55	4	36"60	×			

天 候			
	天候	気温(℃)	湿度(%)
23日	晴時々曇	20	52
24日	晴	22	41
25日	晴	22	43
26日	晴時々曇	22	47
27日	晴	20.5	65

- 第1日目 10/23日 試合の疲れを癒す明るい雰囲気と、競技に対するほど良い緊張をもった雰囲気、すばらしい東京チームである。80%が決勝進出や自己新を打ち出し、好調なスタートで、いいムードで初日を迎えた。
- 第2日目 10/24日 朝夕は冷え込み、日陰はひんやりの中、東京テントは絶好調で、出場者の半分が自己新を出し、ほとんどが入賞した。これ以上ない程の雰囲気、包まれ、選手の意識高揚も図れた。
- 第3日目 10/25日 日中は過ごしやすい陽気な秋晴れであったが、苦しい戦いが強いられ、悔しい思いをした1日であった。
- 第4日目 10/26日 成年種目が多く、出場者8割が得点を重ねてくれた。が、個々の選手は悔しさでいっぱいであった。
- 第5日目 10/27日 熱闘クライマックスは、男4×100リレーで、堂々の3位に入り、東京選手応援団の歓喜が競技場に響き渡った。
- 全体総括 ①天皇杯7位(96.5点)、皇后杯9位(48.5点)、昨年度を上回る好成績でした。ご声援、有難うございました。